

朝倉市過疎地域持続的発展計画(朝倉・杷木地域)(素案)のパブリックコメントに寄せられた意見及び市の考え方

募集期間	令和7年10月31日(金)～令和7年11月21日(金)
意見提出者数	3人
意見数	19件

番号	該当箇所(ページ)	ご意見	市の考え方	対応分類
1	-	過去の事業実績は計画の判断材料に供されるべきものと考える。できるだけ早い機会にわかりやすい形で情報公開し、住民による過疎債事業の全体像の理解に役立つようしていただくことを要望する。	ご意見として承ります。 個別の事業に関する実績は市の行政評価において評価・分析を行い、これらの過疎地域における事業の成果は計画P10「(5)地域の持続的発展のための基本目標」に掲げる指標に基づき評価を行います。	参考
2	-	過疎債の対象とする事業内容について、地域を代表する各コミュニティからの意見の吸い上げ、双方向からの意見交換が可能なワークショップなどによる徹底した議論が必要と考える。	ご意見として承ります。 次期計画策定時の参考とします。	参考
3	-	朝倉インターチェンジの駐車場を増強することや高速周りのゾーンとしての整備をさらに推し進め、新たな定住呼び込みの施策として推進することを提案したい。	ご意見として承ります。 朝倉インターチェンジの駐車場は令和4年度に利用開始しており、現時点で増強する予定はありませんが、今後の施策展開の参考とします。	参考
4	-	「朝倉支所庁舎の一括サテライトオフィス活用」を真剣に検討すべきである。	ご意見として承ります。 今後の朝倉庁舎活用検討の参考とします。	参考

番号	該当箇所(ページ)	ご意見	市の考え方	対応分類
5	-	CosmoCastの基本システムに、付加機能として、区役員からの緊急情報発信機能を追加することを過疎債事業案件として強く要望する。	ご意見として承ります。 過疎地域持続的発展特別事業に記載している防災情報伝達システム整備事業は、情報収集手段を強化することで多くの方に利用いただき、災害時の安全確保につながることを目的としているものですが、その中にCosmoCastも含まれています。いただいたご意見は今後の参考とします。	参考
6	-	直売所「三連水車の里あさくら」を、防災機能も付与した山田・恵蘇宿周辺の総合的振興拠点として再整備することを提案したい。	ご意見として承ります。 防災機能を備えた総合的振興拠点としての整備の提案は、地域にとって重要だと考えますが、三連水車の里あさくらは筑後川の浸水想定区域内に位置しています。このため防災機能を付与した拠点として整備するのは難しいと考えます。	参考
7	p11 (9)持続可能社会への取組	「ワンヘルス」に関する取り組みの記述があるが、杷木・朝倉両地域の過疎問題との直接の関係はない。関連する記述の削除を求めたい。	ワンヘルスの推進は福岡県全体の取り組みであり、朝倉市においても令和5年3月に「ワンヘルス推進宣言」を行っています。人と動物の健康及び環境の健全性を次世代に継承していく取り組みは過疎地域においても将来的な持続的発展に資すると捉えておりますので、このままとします。	原案通り
8	p12 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	空き家を活用した現在の移住促進事業(移住体験、農業体験)を継続すること。	ご意見として承ります。 今後の事業の参考とします。	参考
9	p12 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	全国の市町村で人口が増加しているところはどういう施策を実施しているかを調査する職員を配置し、より流入人口が増える施策を取り入れることが望ましいと思います。特に若い子育て中の家族に手厚い支援を。	ご意見として承ります。 今後の事業の参考とします。	参考
10	p14 (1)①農業	農業の担い手不足による荒廃地や後継者がなく高齢者だけで農作業である家庭への対策、例えば農業お助け隊?・新規就農・貸農園などに過疎債を利用し、それを企画、運営する人材を採用し、定住人口・交流人口・関係人口を増やして欲しい。	ご意見として承ります。 担い手不足や荒廃地解消は重要であり、農業お助け隊、新規就農、貸農園なども有効な取り組みだと考えますので、定住人口や関係人口などの増加につながる方策としても今後の参考とします。	参考

番号	該当箇所(ページ)	ご意見	市の考え方	対応分類
11	p15 (1)②林業	本文中の組合員数、所有面積の合計の数字が合わない。	ご意見を参考に以下の通り修正します。 …組合員数2,624名(その内、朝倉地域48名、杷木地域260名)、組合員の所有面積12,200ha(その内、朝倉地域137ha、杷木地域1,200ha)…	修正
12	p16 (1)④観光	観光案内ボランティアと朝倉グリーンツーリズム協議会の所属員が高齢化しているため、外部から地域おこし協力隊など国の予算がつく人材をもっと活用してこの組織が絶えないような支援が欲しい。	ご意見として承ります。 観光案内ボランティア及び朝倉グリーンツーリズム協議会の活動継続及び体制等の確保について課題と認識しています。いただいたご意見は今後の参考とします。	参考
13	p16 (1)④観光	今、観光や修学旅行の在り方が変わってきてるので、それに対応するため、また子ども達のためにもきちんと整理された山田堰関連の資料館、説明できる会場が必要です。	ご意見として承ります。 山田堰を観光資源として広く伝えるための手法の一つとして、今後の事業の参考とします。	参考
14	p17,48 3 産業の振興 ほか	事業計画中、事業名の付番が欠落している。p48に再掲されたものは(10)のみとなっている。 どの事業が過疎債の対象となるのか、ならないのか、その元となる資料があいまいで判断に迷いが生じる。わかるような説明の追加を。	ご意見を参考に以下のとおり追加します。 P11 <u>2~13の「(3)事業計画」における掲載事業は、分野ごとの「(2)その対策」に基づく事業計画の概要であり、国の示す事業名(施設名)の区分に沿って該当するものを掲載しています。また、主に施設整備以外の事業となるものは「過疎地域持続的発展特別事業」として掲載しています。</u>	修正
15	p18 (3)事業計画	事業計画の備考中「工業団地案内看板、水質検査・除草等管理料」を「優良企業誘致体制の強化」と改める。	事業計画中「企業誘致事業」の備考欄に記載の内容は当該事業の備考として不要と考えますので、削除します。またご意見のあった文言については具体的な事業内容ではないため、記載しないこととします。	修正
16	p36 8 医療の確保	朝倉診療所の理念である予防医療をもっと住民に浸透させ、予防医療によってもたらされる医療費の安さを移住人口へ導く方策を考えはどうか。	ご意見として承ります。 朝倉診療所の予防医療を地域の魅力として発信することは有効な取り組みであると考えます。一方で福岡県は全国的にも医療費が高く、朝倉市の一人当たりの医療費も低水準とは言えないため、医療費のみを移住の決め手とすることには限界があると捉えています。今後は、診療所の予防医療プログラムや健康支援体制を移住情報と併せて発信し、健康で安心して暮らせる地域としての魅力向上に努めます。	参考

番号	該当箇所(ページ)	ご意見	市の考え方	対応分類
17	p36 8 医療の確保	誕生月検診(半日人間ドック)をもっと市民に広めるため過疎債で一部補助してもいいのではないか。	ご意見として承ります。 過疎地域で健診受診を促す方策は重要ですが、地域間で偏りのない受診促進を検討し、誰もが健診を受けやすい環境づくりに努めます。	参考
18	p36 8 医療の確保	予防医療のサロン(誰でも何時でも参加できるサロン)を定期的に数多く開催し、講話や体操、食事指導などをほしい。	ご意見として承ります。 予防医療に係る講話や体操、食事指導の開催は重要であると認識しています。現在、診療所をはじめ市内各所では定期的な運動教室を開催しています。また、来年度に竣工する新たな診療所では軽運動室を設け、健康づくり活動を行えるよう更なる体制を整える予定です。 食事指導に関しては、健診結果に応じた個別指導のほか、市健康課では相談に応じて随時個別対応しています。	参考
19	p43-44 11 地域文化の振興等	原鶴振興センター(サンライズ杷木)は令和8年～令和12年の間に解体し、新たに1階部分は観光施設、2・3階部分は避難所機能を有した防災拠点とする施設を新設してほしい。	ご意見として承ります。 朝倉市多目的施設原鶴振興センターは、現在の施設の補修等を行いながら、安全で多くの方にご利用いただけるよう努めています。 防災拠点となる施設について、本施設の位置は筑後川の浸水想定区域内に位置しており、洪水時の指定緊急避難場所としても不指定していることから、防災拠点を新設する場所として整備するのは難しいと考えます。 全体的な内容については今後の事業の参考とします。	参考